

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名	一般国道338号 長後バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	青森県
起終点	自：青森県下北郡佐井村長後 至：青森県下北郡佐井村長後			延長	2.4 km	
事業概要	<p>一般国道338号は、北海道函館市を起点とし、青森県下北郡大間町を經由し同県上北郡おいらせ町に至る延長約23.1kmの幹線道路である。長後バイパスは、人家連坦部で幅員狭小、急カーブ、急勾配の連続した隘路区間を解消し、くわえて堆雪帯の設置により冬期間においても安全で円滑な交通の確保を目的とした、延長2.4kmの2車線道路である。</p>					
H1年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H1年度用地着手	H4年度工事着手			
全体事業費	28億円	事業進捗率	68%	供用済延長	0 km	
計画交通量	1,100台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 0.5 (残事業) 1.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 12/35億円 (事業費：8/32億円 維持管理費：3/3億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 19/19億円 (走行時間短縮便益：18/18億円 走行費用減少便益：1/1億円 交通事故減少便益：0/0億円)	基準年 平成18年		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 物流効率化の支援（牛滝漁港からの水産物輸送の利便性向上） 個性ある地域の形成（主要な観光地である下北半島国定公園へのアクセスの向上） 災害への備え（緊急輸送道路ネットワーク計画において第2次緊急輸送道路に位置づけあり） <p style="text-align: right;">他9項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>一般国道338号は、地域交流の促進、下北半島周遊観光の拡大等の重要な役割を果たすことが期待されており、地元市町村長等で構成する下北総合開発期成同盟会より、早期整備の要望（平成18年7月18日）を受けている。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>国道279号風間浦村易間地区において落石の履歴や恐れがあり、平成17年度以降頻繁に交通規制や通行止めになっており、代替路線として早期の道路整備の必要性が高まっている。</p>					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>【執行済み額】事業費：19億円（進捗率68%）うち用地費：1億円（進捗率100%）</p>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>コスト縮減により事業期間を短縮し、整備効果が早期に発現されるよう工事促進を図ることとしている。</p>					
施設の構造や工法の変更等	<p>共有地部分および大規模な切土・盛土箇所の計画見直し、また高盛土区間を補強土壁工に工法変更することにより、コスト縮減を図っている。</p>					
対応方針	事業継続（事業見直し継続）					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。